

## 全員がわかるように、協力して学習を進めること

- 1 みんなで協力して結論を出すこと。他の班の人たちとも相談しても良い。
- 2 結論だけでなく、全員が理由、考え方がわかるようにすること。
- 3 先生に聞いたり相談したりする前に、友達に相談すること。
- 4 目標を達成するために、一番良いと思う方法で学習して良いこと。
- 5 友達の意見を良く聴くこと。自分と違う意見の中に大切な考えがある。

## 社会科の目標

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

# 6年生の社会

## 目標

- (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。
- (2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査し、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味をより広い視野から考える力を育てるようにする。

## 3 源頼朝と鎌倉幕府

### 目標

源平の戦いや鎌倉幕府の始まり、元との戦い、室町文化に関心を持ち、このころ武士による政治が始まったことや、京都の室町に幕府が置かれたところに室町文化が生まれたことが理解できるようにするとともに、今日的生活文化に直結する要素をもつ室町文化に親しもうとする心情を育てる。

年表や文章資料、イラスト、写真などの資料を効果的に活用して、源平の戦いや鎌倉幕府の始まり、元との戦い、室町文化について具体的に調べ、調べたことを目的に応じた方法でノートやレポートにまとめる力を育てるとともに、源頼朝などの人物の業績や室町文化が我が国の国家・社会の発展に果たした役割を考える力を育てる。

**評価基準****関心・意欲<sup>いよく</sup>・態度**

源頼朝が平氏打倒の兵を挙げたころから京都の室町に幕府が置かれたころまでの時期の様子に関心をもち、進んで調べようとしている。

ア．武士による政治の始まりに関心をもち、学習問題を意欲的に追究しようとしている。

イ．室町文化に興味をもち、進んで調べようとしている。

**思考・判断**

武士による政治が始まったころの世の中の様子や、室町文化が今日の生活文化に直結する要素をもつことを考えることができる。

ア．将軍と家来の武士たちとの関係や、武士の生活の様子について考えることができる。

イ．室町文化が今日の生活文化に直結する要素をもつことを考えることができる。

**技能・表現**

年表や文章資料、イラスト、写真などの資料を効果的に活用して、源平の戦いや鎌倉幕府の始まり、元との戦い、室町文化について調べ、調べたことをノートやレポートに工夫しながらまとめることができる。

ア．各種の資料を効果的に活用して、源平の戦いや武士の暮らし、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて調べ、調べたことをノートにまとめることができる。

イ．室町文化について調べたことをレポートに工夫しながらまとめることができる。

**知識・理解**

武士による政治の始まりや、幕府が全国的に力をもってきたこと、武士や民衆の中から室町文化が生まれたことが分かる。

ア．武士による政治が始まったことが分かる。

イ．幕府が全国的に力をもってきたことが分かる。

ウ．武士や民衆の中から室町文化が生まれたことが分かる。